

より密接な地域医療連携をめざして

地域医療連携室

Office of Community

だより

2015 VOL. 9

呼吸器・アレルギー・血液内科 紹介

教授 木村 弘



平素より患者様の紹介や転院などご協力いただきありがとうございます。当科は奈良県立医科大学附属病院呼吸器・アレルギー・血液内科として外来診療を行うとともに、一般内科の病床ベッド66床(C棟8階に45床、B棟8階に21床)を担当し入院診療をおこなっています。『呼吸器・アレルギー内科』の疾患は、肺癌、肺炎、気管支喘息、COPD(肺気腫、慢性気管支炎)、間質性肺炎・肺線維症、肺高血圧症、肺血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)、睡眠時無呼吸症候群、在宅酸素療法など多岐にわたっています。『血液内科』は、奈良県内の数少ない血液疾患専門施設として、造血障害や血液腫瘍の診療を中心におこなっており、一般の医療機関での対処が困難な白血病治療や造血幹細胞移植が主体となっています。診療スタッフは、一般内科の深い経験とともに、呼吸器内科もしくは血液内科全般の知識と豊富な経験を兼ね備えています。癌、アレルギー、COPD、感染症、肺循環、睡眠医療、移植医療などそれぞれの分野のエキスパートが教室内に揃っていますので安心してご紹介ください。

私たちスタッフ一同は、『病気』だけではなく『病める人』を診るよう常に心がけております。『呼吸と循環の融合』の基本理念のもと、地域医療現場での『心の通った医療』の実践と、『高度な専門医療』そして『Clinical-Orientated Research』(治療医学への貢献を目指した研究)の実現に向けて、皆様に最先端の診療を提供できるよう日々努力して参るつもりです。



ごあいさつ

地域医療連携室長補佐 永井 淳



平成27年4月から地域医療連携室長補佐を務めさせていただいています永井淳です。社会の高齢化が進み、患者数が増え続ける状況の中、医療機関は限られた医療資源で、良質かつ適切な医療の提供を求められています。この責務を果たすには、医療機関間の密な協力関係が必要不可欠となります。

当室では、主な業務として、患者さんが初診受診される際の「初診紹介予約」、入院患者さんが退院される際の「退院調整」、患者さんの診療を計画的に進める「地域連携パス運用」を行っていますが、いずれの業務も医療機関の皆様方との連携なくしては、成り立たないものばかりです。

今後も、連携強化に向けた取り組みを進めてまいりますので、ご協力、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



奈良医大は「紹介」「逆紹介」を推進しています

当院は奈良県で唯一の特定機能病院です。専門性の高い医療を提供することにより、一般病院とは異なった役割を担うことが求められています。

地域の先生方から、専門性の高い検査や治療を必要とする患者さんをご紹介いただくとともに、当院での治療を終えて症状が安定した患者さんを元の医療機関、あるいは関連医療機関に速やかに逆紹介するように努めております。

また、患者さんにも理解を深めていただくため、同封のポスターを掲示していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

『紹介』とは

専門性の高い検査や治療が必要な時に、かかりつけ医から奈良医大へ紹介されます。



かかりつけ医

紹介

逆紹介

『逆紹介』とは

奈良医大での検査や治療により、症状が安定すれば地域の医療機関(かかりつけ医)に戻っていただき、治療が継続されます。



奈良医大

医療機関
連携係

初診紹介予約システム

平成27年4月1日から『前方連携係』から『医療機関連携係』に名称を変更しました。

多くの先生方にシステムのご利用をいただき、ありがとうございます。

従来、予約票返信に30分程度と案内していましたが、この度システムの改善を行い、概ね15分と時間を短縮しています。(調整が必要な場合や混雑時には、お時間をいただいています)

今後、さらに利便性に優れた予約システムを構築していきたいと考えております。どうぞご利用ください。

連携の推進、充実を目的とし、登録医をはじめ地域の医療機関への訪問活動も予定しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

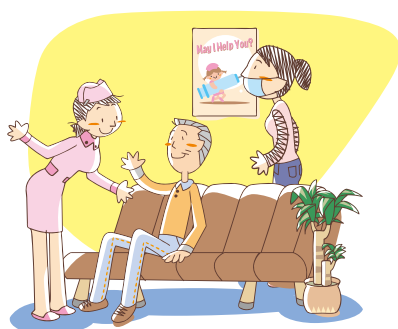


予約利用が簡単になるポイント



予約システムに関してのご意見から、利用時の負担が軽減いただけるようポイントをまとめました。ご参考ください。

不 便 な 点	対 応 策
診療情報提供書(兼)初診予約診療登録票の作成に時間がかかる 予約システムの利用が手間	まずは、登録票に①紹介診療科名、②患者さんの基本情報、③希望日、④紹介目的、⑤傷病名を記入の上 FAX してください。予約票を返信します。 詳しい紹介内容は予約日の2、3日前までに FAX 送信をお願いします。
患者さんに予約票が渡せない ●再度取りに来てもらう手間がある ●患者さんに予約票が来るまで待ってもらえない ●予約受付時間外なので一旦帰宅してしまっている	予約票の持参がなくても受診いただけます。 ※予約票には当日の持参物等も記載しておりますので、お渡しいただいた方が安心です。 ※患者さんに予約日時を間違いなくお伝えください。
希望日に予約がとれるのか 地域医療連携室からの日程調整の電話がわずらわしい	予約枠に空きがない場合は、お取りできないこともあります。 出来るだけ複数のご希望日や、都合の悪い日等をご記入ください。日程の調整が軽減されるかと思われます。



退院調整係

地域連携パスを推進しています

『後方連携係』から『退院調整係』に名称を変更しました。

当院では、5大がん（胃・肝・肺・大腸・乳）をはじめ脳卒中、虚血性心疾患地域連携パスを推進・運用しています。病院のみならず、かかりつけ医や診療所の先生方にも、地域連携パスへのご協力とご参加をよろしくお願いします。

❖ お問い合わせ先 ❖

地域医療連携室 退院調整係 岩口（内線3150）

お気軽に
お問い合わせ下さい♪

♥ 緩和ケア地域連携パスを運用しています（平成26年9月1日 運用開始） ♥

「緩和ケアを必要とするがん患者さん・ご家族が安心して新たな療養の場に移行できること」、「療養の場の移行に伴う緩和ケアの連続性と質を確保するため情報共有を行うこと」を目的に、緩和ケア地域連携パスを作成いたしました。

緩和ケア地域連携パスの対象

- 本人またはご家族が、現在の病状（病名・予後）および緩和ケアについて説明を受け理解されているがん患者さん・ご家族
- 緩和ケア病棟（ホスピス）等緩和ケアを主とする医療機関への転院を希望している、または、在宅での療養（在宅緩和ケア）や介護施設での療養を希望しているがん患者さん・ご家族

緩和ケア地域連携パスを使用し自宅退院される患者さんには、「わたしノート」をお渡しし、療養手帳として使用していただけます。緩和ケアや自宅生活に関連した情報が記載されており、自宅生活でのスケジュールや療養日誌などが書き込める様式となっています。

表紙見本



2015年4月より、新たにメンバーが加わりました！

退院調整看護師 3名

医療ソーシャルワーカー 7名
で退院調整業務を行っています。



地域医療連携懇話会を終えて

テーマ「在宅緩和ケアと地域連携」

平成26年10月9日（木）に開催した懇話会では、院内外から200名を超える方々にご来場頂き、「地域連携パスは、誰がみてもわかりやすい」「自院でのパス構築の励みになった」等、積極的なご意見を頂きました。

今年度も地域医療連携懇話会開催を企画しています。詳細が決定次第、ご案内致します。